



児童養護施設と発達障害に関する研究

教育学部児童教育学科 准教授 吉田 耕平

キーワード

児童養護施設、発達障害、ADHD

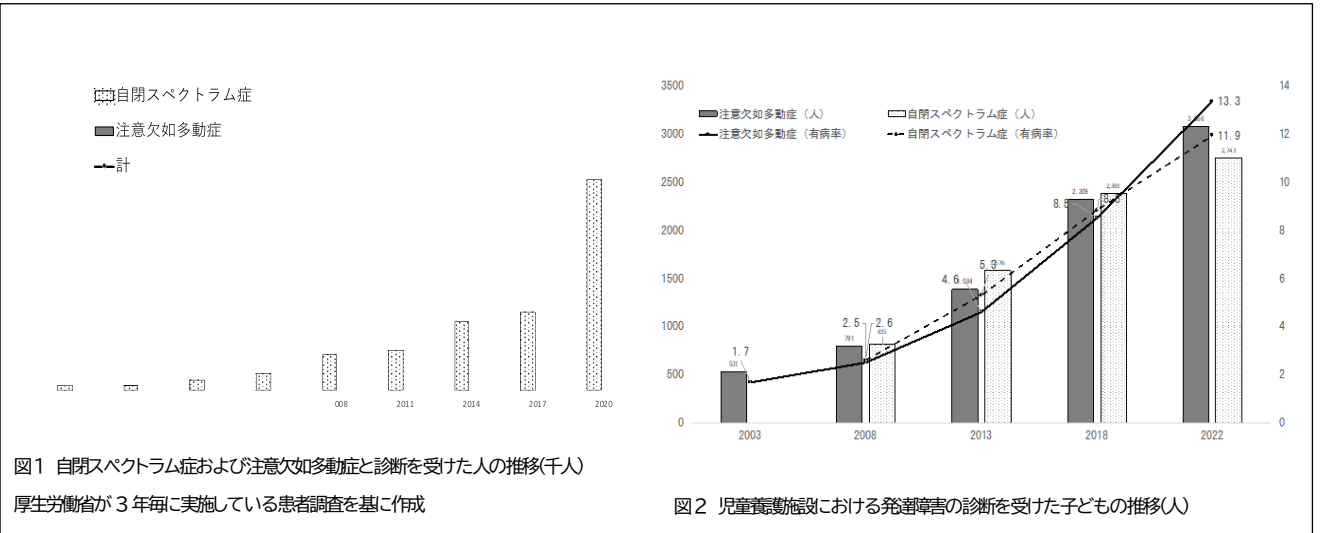
該当するSDGs



1 研究内容

1990年代から2000年代にかけて、日本国内でも自閉スペクトラム症や注意欠如多動症といった「発達障害」の診断を受ける子ども(大人も含む)の数が増加し(図1)、この「発達障害」をめぐっては、教育学や心理学、社会福祉学などの分野でさまざまな議論がなされています。

私は医療社会学の視座から、なぜ2000年代頃から、日本国内で「発達障害」が拡大しはじめたのか。特に、「ADHD」の診断を受ける子どもが増加している児童養護施設を中心に(図2)、どのような経緯で「障害」の診断が付与され、薬物治療に至っているのか研究を行っています。



2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

・児童養護施設や教育機関との連携および共同研究を希望します。

これまでの連携実績

- ・高等学校の探究学習に係る講師
- ・高等学校のキャリアデザインとして出張講座
- ・私立幼稚園教育研究会(研修会講師)
- ・保育補助者養成セミナー(担当:社会的養護)
- ・教員免許更新講習(専門領域:児童福祉分野)

問合せ先 福山市立大学事務局総務課(地域連携センター)

TEL:084-999-1112 FAX:084-928-1248 MAIL:renkei@fcu.ac.jp